

競技注意事項

1 競技規則について

競技規則は2024年度(公財)日本陸上競技連盟規則による。

2 練習会場等について

主競技場での練習は、競技開始30前までとする。それ以後は屋内競技場で行うこと。
使用方法については、天候を考慮し監督会議で連絡する。

3 競技場について

スパイクピン(全天候舗装用)の長さは9mm以下とする。但し、走高跳・やり投は12mm以下とする。
ピンの本数は11本以内とする。

4 招集について

- 1 招集場所は屋内競技場前(駐車場)の北東側とする。
- 2 招集完了時刻は競技開始トラック15分前、フィールド20分前までとし、直接現地に集合する。
(出場：招集所でオーダー用紙に○→現地で招集)
詳細はプログラムの競技日程欄を参照のこと。
- 3 リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。

5 競技について

- 1 短距離では安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- 2 不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
競技規則162条5の不適切行為に対し警告を与えることができる。2度のイエローカードの提示を受けた競技者は当該種目のみの失格とする。
- 3 欠場者のレーンはそのまま空けておく。
- 4 競技用具は原則的に競技場備え付けのものを使用する。
ただし、棒高跳用のポールに限り、個人所有の物を使用することができる。また、競技場に備え付けられていないやりに関しても、検査を受けて合格した物に限り、使用することができる。
- 5 リレーのマークは各チームで準備し、終了後に撤収すること。
- 6 フィールド競技において、高さを競う競技以外の試技回数は3回とする。
また以下の計測ラインを設定し、そのラインを越えた記録のみ測定する。
但し1回目(1本目)は計測ラインに関わらず、すべて計測する。
計測ライン： 男子：4m30 女子3m70

6 アスリートビブスについて

- 1 アスリートビブスは胸背部に確実に付けること。但し跳躍競技においては胸部または背部だけでもよい。
- 2 トラック競技において、ゴールする選手は右腰部に腰ナンバー標識をつける。
- 3 腰ナンバー標識は、審判員の指示によって着用し、レース終了後返却すること。

7 バーの上げ方について

走高跳	練習	1	2	3	4	5	
男子	1 m50 1 m70	1 m55	1 m60	1 m65	1 m70	1 m75	以後3cm
女子	1 m20 1 m40	1 m25	1 m30	1 m35	1 m40	1 m45	以後3cm

気象状況

時間	天候	気温	湿度	風向	風速	気圧
12時						
13時						
14時						
15時						
16時						
17時						

8 その他

- 1 競技場内へは競技者・コーチ・役員以外は入場できない。
入退場は第1・4ゲートのみとする。
- 2 競技者・コーチ・役員の観戦はメインスタンドと第1・2曲走路の芝スタンドとする。
スタンド両脇の芝スタンドは選手の待機場所とする。
- 3 記録はQRコードを読み取り、記録速報サイトで確認すること。
- 4 **各所属の代表者は必ず競技1時間前に行われる監督・役員打合せ会議に出席すること。**

代理での出席は不可とする。また1名以上の帯同競技役員を要請する。

- 5 スタンドから写真・ビデオ撮影を希望するものは本部で手続きを行い、リストバンドを着用すること。 *女性競技者を守る観点から